

## 第 4 回

# 新市まちづくり計画検討小委員会会議録

と き 平成 1 6 年 3 月 1 5 日

ところ 西脇市生涯学習まちづくりセンター

西脇市・黒田庄町合併協議会

第4回新市まちづくり計画検討小委員会会議次第

日時：平成16年3月15日（月）

時間：午後6時30分～

場所：西脇市生涯学習まちづくりセンター

1 開会

2 委員長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 議事

(1) 主要指標の見通しについて

(2) 新市の都市構造について

(3) 新市の基本理念について

(4) 新市の将来像について

(5) 新市まちづくり計画（将来構想部分）の中間報告について

5 次回の議題等について（予定）

(1) 新市の基本方針について

(2) 主要施策について

6 その他

(1) 次回の開催日程

日時 平成16年 月 日（ ）

場所 西脇市生涯学習まちづくりセンター

(2) その他

7 閉会

## 出席名簿

### 【委員】

氏名	備考
長谷川 俊 雄	委員長
小 林 茂 夫	副委員長
浅 田 康 子	
岩 崎 貞 典	
宮 崎 正 則	
東 野 一 彦	
西 山 孝 彦	

### 【事務局等】

事務局 長	内 橋 敏 彦
事務局 長補佐	藤 原 俊 三
事務局 員	板 場 逸 史
コンサルタント	千 田 雅 明
”	前 田 直 之



発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局長	<p>それでは、きょうも、非常に議事がたくさんありますので、早速ですけども、議事に入らせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、これより議事に入らせてもらいますが、会議録署名委員の指名でございますけども、本日の会議録署名委員は、黒田庄町の東野委員、よろしくお願いいたしますと思います。</p> <p>それでは、これより議事に入らせていただきます。</p> <p>まず、1番の、主要指標の見通しについて、事務局より説明をいただきたいと思います。</p> <p>それでは、送付させていただいています計画素案の48ページをごらんいただきたいと思います。</p> <p>ここでは、合併後10年、つまり、新市計画の想定期限が平成27年における新市の人口を予測しております。これは、説明にありますとおり、平成7年と12年の国勢調査人口により、出生率、生存率、また転入・転出数などの動向を考慮したコーホート要因法という方法で推計しております。</p> <p>これによりますと、平成27年の新市の推計人口は4万2,097人となっております。現在の人口は4万5,718人ですので、約3,600人、割合にして8%減少する予測となっております。詳しくは49ページに、5歳ごとに年齢別、5年ごとの推計値を表にして載せております。これがコーホート要因法の出し方でございます。</p> <p>全国的傾向と同じように、全体の人口が減少していく傾向に、65歳以上の高齢者の人口の割合が高くなっている、少子高齢化がますます進んでいくということがわかりいただけるとと思います。</p> <p>このコーホート要因法による推計人口は約4万2,000人ですが、これに基づく新市の人口については、都市部と比較的近い位置にありながら、豊かな自然と共生できる居住空間である、大変恵まれた立地条件を生かしまして、小委員会でもご意見をいただきましたように、交通基盤のさらなる整備による都市部への通</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>勤・通学圏としての位置づけを高めていくとともに、住民のニーズの強い福祉や産業の施策を展開していくことで、住みよい生活環境を整え、住民が安心して暮らせるまちづくりを進めるということと、この10年間で、いわゆる団塊の世代が大量に退職期を迎えます。これらの世代には、都会で暮らす人々を中心に、自然回帰を望むナチュラル志向が強いことから、両市町の出身者を中心にしたUターンがある程度見込まれます。</p> <p>これらのことに応じ、近隣市町への転出人口を抑えるとともに、都市部からの転入人口も若干見込むことによって、コーホート予測よりも減少を抑え、10年後の想定人口を4万4,000人と設定しました。これは、現在よりも、人口が1,700人減りますが、今説明しました理由などにより、この程度の数値が想定人口として妥当という判断をいたしました。</p> <p>また、50ページには、想定人口と、今後の1世帯当たりの平均人員予測から判断しました推計世帯数を1万6,479世帯としておりますが、その中で、4万4,000人を想定いたしております提案でございます。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>ただいま、事務局から説明を受けましたけれども、これについてのご質問がありましたらお受けしたいと思います。</p>
小林副委員長	<p>西脇市の小林です。</p> <p>これで、ほぼこういう見方が妥当だと思うんですけど、兵庫県でも本当に人口が減っていくというのがこの地域だけだということをお聞きするんですけど、ほかの地域は、というようなことはわかりますか。例えば兵庫県全体ではどうか、それに比べてこの地域が特別どうかというようなことはわかりますか。</p> <p>これ出すときに、いろいろ幹事会でも調整をしたんですが、小野市の場合、小野市は合併はしてないんですけど、12年の人口</p>
事務局長	

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p>小林副委員長 長谷川委員長</p>	<p>が4万9,000人、そして、22年、推定が5万5,000人。加西市、12年が5万1,087人が、目標推定時期、22年が5万2,000人、これがその計画目標です。合併が進んでいるところ、加東市なんですけども、12年で4万688人、今度の新市計画では、27年なんですけど、4万3,000人で設定しております。丹波市、12年、7万2,862人、新市計画、27年で7万人です。それから、養父市、12年が3万110人ですけれども、現在15年で3万人を割っとるんですけど、これ市になるんですけども、この推定で、人口を、27年で3万人。淡路の洲本五色市、12年、5万2,248人、計画目標27年で5万人。淡路市、5万1,884人、計画時に4万8,400人ということで、淡路の方は若干減らされております。それから、加東、いわゆる若干増やされておるといような状況でございます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>はい、わかりました。</p> <p>ほかにはございませんか。</p> <p>ないようですので、それでは、次の、第2番の、新市の都市構造についての、小委員会でのワークショップの内容を踏まえて、コンサルさんの方から内容を取りまとめていただきましたので、ご説明をお願いしたいと思います。</p>
<p>コンサルタント前田氏</p>	<p>それでは、新市の都市構造の方、説明させていただきます。</p> <p>お手持ちの新市まちづくり計画素案の方の資料の54ページの方をごらんください。</p> <p>3-3新市の都市構造のところ、最初に文書が書いてあると思いますので、のまち、ここには、これから、きょうも、この後、ご検討いただきます将来像、そういったものを説明するために、この地域の恵まれた自然環境や利便性等の高い都市機能が調和した快適な定住圏域の形成を目指すものとしします。そのために、既存の土地利用構想や市の集積などを踏まえて、地域の特</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>性にあわせていけるような連携軸、拠点、ゾーン、それから、この土地、エリアをどういうふうに整備していくかといったようなゾーンを設定して、新市の快適な計画的なまちづくりのために、ここに書いてあります構造図を作成しました。</p> <p>ちょっと白黒で見にくいんですけども、ここに書いてありますが、前回の小委員会で、皆さんと地図上で、いろいろマジックで、ここが大事だとかということをやらせていただいたんですけども、そういったものを踏まえながら、こういった図をつくらせていただいております。</p> <p>簡単に説明いたしますと、まず、この大きな縁取りをしてある矢印の方が主に鉄道や国道等が示されている広域の連携軸になっております。そして、それらにくっつくように小さく丸い点線のようなもので書いてありますが、これらが地域内面連携軸と書いてありますけれども、これ地域間、間という字に直していただいて、地域内のみならず、地域外ともアクセスするような連携軸になると思いますので、地域間連携軸に名称を変えたいと思います。</p> <p>そして、その図面上に二つ丸が書いてありますけれども、少し濃い方、現在の西脇市の中心部に丸がついてありますけれども、これを新市における都市核という認定で、新市の都市的な機能がここに集中するであろう中心的な役割を担っている都市核と設定したいと思います。もう一つが、現在、黒田庄町の役場であるとかそういった中心的な役割を担っているところを地域核という意味で、黒田庄町エリアの中心に地域核として設定するものです。</p> <p>それから、ゾーンなんですけれども、これは、ちょっと見にくいかもしれないんですが、まず、先ほど言いました都市核の周りにある、囲んでいるゾーンですね、都市機能集積ゾーンという、一番薄い網掛けになってると思うんですけども、現在の西脇市の市街地区域に都市機能の集積ゾーンを設定しております。</p> <p>そして、少し広域の連携軸に沿うように、点のような形で伸び</p>



発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>ていく網掛けが、その次に明るい網掛けだと思うんですけど、そういった網掛けがあるんですが、それが田園環境定住ゾーンというもので、後ほど詳しく説明しますけども、農村、農業系、そういった田園空間と住環境、そういったものが調和したような、ゾーンということでそういった設定をしております。</p> <p>そして、ちょうど西脇市と黒田庄町の中心部あたりに、両市町をまたぐようにあります少し濃い網掛けの部分、そのところがスポーツ・文化交流ゾーン、このあたり、特に、前回の小委員会のワークショップの中でも、公園ですとかスポーツ施設ですとか、そういったものが集中しているエリア、そういった場所をスポーツ・文化交流ゾーンとして、新市の活動の場となっていくようなゾーンとして設定しております。</p> <p>最後に、それらを囲むようにある西脇市・黒田庄町の森林ですとか、山間部に当たると思うんですが、そういった部分を自然共生促進ゾーンで、自然保護であるとかそういったものを活用して、人と自然が健やかに共生していけるようなゾーンとして設定しております。</p> <p>55ページの方を見ていただきますと、今言いましたような連携軸、そして、都市核、地域核、そして、3番のゾーンということで、簡単に説明が、1文、2文くらいずつ書いてあります。</p> <p>まず、連携軸の広域連携軸ですけれども、先ほど申しましたように、近隣の市町、神戸や大阪地域のアクセス道路や鉄道の利便性を向上させることにより、人・物・経済・情報などの流れを活発にして、広域的な連携強化を図っていくという軸として設定します。</p> <p>次に、先ほど、地域間、内じゃなくて間といいますけども、地域間連携軸の方では、新市の各地区を結ぶ生活道路のようなものですね、そういったものの整備を進めることによって、ここも地域内の連携と書いてありますが、ここも地域間にさせていただけれ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>ばと思います。地域間の連携を強化して、新市の一体的な発展をもたらす、こういった軸であるという設定の仕方をしております。</p> <p>2番目に、先ほど言いました、丸印で書いてある都市核、地域核のところです。</p> <p>都市核の方は、現在の西脇市の中心的な区域ですけども、従来からの都市機能を集積している地域であり、地域の行政、経済、生活の中心的役割を担う拠点として、今後、より一層の拠点性を高め、新市の心臓として機能の集積を図ります。新市の中心的な拠点ということです。</p> <p>地域核の方ですが、現在の黒田庄町の中心部として、主要な機能が集積している地域であり、市域の広がりとともに、都市核の副次的な拠点として、住民の生活を支える役割を担います。やはり拠点、中心核というものが、1カ所でどうしても偏りといえますかバランスがとれないといった面がありますし、周辺地域を、やはり不安な面が、今まで黒田庄町の役場等があったというのにですね、そういった中心的な役割が黒田庄町の方にもないと、やはり住民の方々は不安であるということもあると思いますので、こういった地域核というものをこういった場所に設定するということが考えられると思います。</p> <p>3番目のゾーンですけれども、先ほどの都市機能集積ゾーンですけれども、経済、文化、行政、住居などの多様な都市的機能を集積しており、市民生活と密着に関連するゾーンとして、にぎわいと活力の創出を図ります。また、周辺地域との、人・物・経済の循環を促進させるネットワークの拠点の形成を進めます。</p> <p>そして、その次に、田園環境定住ゾーンですけれども、周辺部の良好な農村環境と豊かな田園空間を維持しつつ、定住を促進するために、自然と調和した居住空間の整備を進めます。そういったゾーンになります。</p> <p>次に、文化・スポーツ交流ゾーンですけれども、既存の文化・</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>スポーツ交流施設のネットワーク化を図り、市民活動や新市内外の交流活動を充実させていくゾーンを形成していきます。</p> <p>また、都市核と地域核、ちょうど、先ほど説明した丸の間のような位置に入る部分ですので、都市核、地域核をつなぎ、新市の交流と共生のシンボル拠点として、今後とも整備していきます。</p> <p>最後に、自然共生促進ゾーンですが、豊かな自然資源を保全、育成して、次代へ継承していくとともに、人と自然の良好な関係を築き、健やかに共生できるゾーンの形成を進めていくという形で、新市の都市構造として、今回、出させていただいております。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>ただいま、コンサルさんの方からご説明いただきましたけれども、このことについてのご意見、ご質問なりございましたら、お受けしたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
宮崎委員	<p>黒田庄町の宮崎ですけども、今説明をいただいたんですけども、この地域とかゾーン等に関しまして、今後、今現在、県の方で、調整区域とか都市計画区域とか、そういうものが設定されてますね。それに伴う、今後、今回の区割りがそういうものに進展していく可能性とか影響するようなことは含まれるんですか。</p>
コンサル千田氏	<p>土地利用の方は、直接どういう形で反映するかということは、すぐにはわかりかねる部分があるんですけども、ただ、他地域を見てますと、こういう広域連携軸ですとか地域間連携軸というのは、県の方の県道とか地域の道路の整備ですか、そういうことの優先順位を上げていこうという形で考えられた例が多くあります。それから、都市機能集積ゾーンについて言えば、これのやはり重点的な姿勢というのや県の事業とかがあれば、そういったものに配慮した分という場合が出てきますので、今後このあたり調整が必要かなと思います。</p>
事務局長	<p>ちょっと都市計画税の関係だと思うんですけども、とりあえず、県内でもたくさん合併問題が進んでおります。そういう中で、</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>総合計画は合併後に作るんですけど、まちづくり計画進んでますんで、県全体としても、いつかの段階ではそういう洗い出しとかそういうことを行う。ただ、今のところは、合併に向かってのまちづくりの段階だけということでございますので、新しい総合計画もできるわけです。そのような問題が起ってくるというように認識はしとんです。これ即そうだということやなしに、新総合計画がはっきりする中で、市町の場合、新総合計画を発表して、その後都市計画つくりますので。新総合計画をつくる前の将来ビジョンの段階です。</p>
宮崎委員	<p>都市計画を見直すときには、その段階で、これは大枠をくくるだけのもので、具体的に実施されるとか、これが極端に反映されてしまうことはないかと判断させていただいてよろしいですね。</p>
事務局長	<p>総合計画が両地域のまちづくりの基本理念なんですね。そこへ行くための大きな目安が、今回つくっていただいているまちづくり計画、この計画は、おのずとその精神を受けて、新総合計画になると思うんです。そういう段階で、総合計画ではっきりすれば、今おっしゃってもらっているような都市計画の件、今の段階では、ぼやっとしたような方向性だけという認識をしとんです。</p>
宮崎委員	<p>具体化していくときには、新たにそれを具体的に検討していく、そういうときがあるということで判断させていただいたらよろしいんですね。</p>
事務局長	<p>総合計画つくる場合、2、3年かかります。そして、百人委員会とかいろいろ委員会で民間の委員さん方のご意見をたまわり、取りまとめていきます。そのときに、これがたたき台になりながら議論されるというふうになります。</p>
宮崎委員	<p>はい、わかりました。</p>
長谷川委員長	<p>ほかに、どなたかございませんか。</p>
宮崎委員	<p>もう一つ聞きたいんですが、ここの地域核のところなんですけども、この地域核で以前から、岩崎委員が申されておられました</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局長	<p>ような形で、この機会に地域総合事務所という形で、黒田庄町の役場を残す等の意見が出たときに、各地区ごとに、そういう拠点をこの機会に設けてはどうかというご意見があったと思うんです。ものすごい重要なことだし、大事なことやなと僕個人的にも思っていましたので、その地域核を設定するに当たって、地区においての地区制等の検討も考えた本協議会の方ですね、小委員会から上げることができるのか、その辺ちょっとお聞きしたいと思います。</p> <p>おっしゃってる意見もそうですし、やっぱり将来計画の中で、まちづくりの段階で、黒田庄町さんの支所的な形でやっていただく中で、それを芳田、比延、日野と広げていただくという議論、いろいろな意見聞いております。ただ、そういうものがまちづくり計画の中で出てくると思います。ところが、今回の場合、とりあえず、二つの市町が一体性をどう確保するかという基本なんです。先の目標は含みますけれども、現実には、このたび一緒だということまでは発展をするような計画にならないのではないかと思います。</p>
宮崎委員	<p>というのは、基本的に、財政という大きな問題がございますので、それによっていろいろな問題出てきますので、たくさん委員さんの意見があるんですけど、町長もおっしゃってるんですけど、一気にそこまでというような表現はできないと思うんですけど。</p> <p>事務局の方からはそういうご意見なんですけども、やっぱりこの機会に、ある程度、提言めいた形だけでも意識を盛り込むとか、何らかの方向性を示していかないと、新市が発足した時点で、新たに地区制を見直そうとかという動きを起こすには、ちょっと多大な力が必要になってしまうんじゃないか思いますので、もし検討しているようでしたら、この機会に、具体的やのうても、何らかの警鐘なり提案をしていけるような形までいけたらと、個人的</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局員	<p>には思いますが。</p> <p>さっき、局長申しましたように、ここ都市構造の部分で、この後、将来像と基本理念を徹底しまして、計画の中で、基本方針の中で、例えば健康福祉やとか住民自治のあり方とか、そういう項目が出てきますので、その中で、今言われたこと、住民自治のあり方とか地域自治のあり方ということになってくると思っていますので、その部分で、きょう出た意見というの、担当者会議で踏まえて、言わせてもらいながら、委員さんと、今言われたような意見を聞いて、確約まではできないかもですけど、新市における方向性を示していくことはできると思いますし、それを受けていただくことも考えております。</p>
宮崎委員 長谷川委員長	<p>はい、わかりました。</p> <p>ほかにごいませんか。</p> <p>それでは、ないようですので、次の方へ移らせていただきます。</p> <p>3番目の、新市の基本理念についてということで、コンサルさんの方から説明を受けたいと思います。</p>
事務局員	<p>ちょっと事前に事務局なんですけど、申しわけございません、きょう急遽別紙で、資料を追加させていただきました。前回、前々会、議論踏まえて、事務局なりに検討させていただきました。まちづくり理念、きょうの配布になってますけど、あわせて、コンサルに説明していただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
コンサル千田氏	<p>お手元の方のまちづくりの理念という形で説明させていただきたいと思います。後ほど、将来像というのが、この後ありますので、理念のところだけご説明させていただきたいと思います。</p> <p>事前に配布しております理念の方と、若干文言の方を少し修正させていただきます。</p> <p>このまちづくりの理念といいますのが、どちらかといいますと、将来像、前回いろいろと議論させていただきましたキャッチフレ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>ーズですけど、一言でいろいろ言いあらわせるというようなキャッチフレーズ的なものを考えたかと思いますが、それだけでやはり根底に流れる新市をどういうふうにしていくんだという、底辺に流れる理念ですね、それを決めていこうではないかということで、3本柱を決めさせていただいております。</p> <p>事前に配布した資料、前半の文言は変わっておりますけど、大体中身が同じでございますので、1番目に、やはりアンケートを見ますと産業振興だとか活力に満ちたまちづくり、そういうものが一番大きいというものがあまして、やはり1番目に、元気なまちづくりをつくりたいよというのを一番に上げたいなという形で、1番目に持ってきた形になっています。</p> <p>それから、元気なまちづくりが、今、政情不安という部分もありますし震災の問題とかもありますので、それからあと、少子高齢化による福祉の面というのもありますので、やはり安心して暮らせるまちづくり、それからあと、この地域の資源とかいろいろありましたけども、そういう恵まれた自然環境とか、環境のいろんなことを言われてますので、そういったものをひっくめて、安心して暮らせる共生のまちというのもあげさせていただきました。</p> <p>それから、3番目に、今回、この検討小委員会で集まっていたいておりますけども、やはり市民主導の計画づくりを今後ともしていかなければいけないですし、それから、実行するに至っても、行政主体じゃなくて、市民主体になってやっていただく、参画と協働のまちづくりも必要であると。この3本の柱を何とか新市のまちづくりの理念にしたいなということで、3本あげさせていただきます。</p> <p>この大枠の3本をどこまで表現するのかということで、前回伺った中では、少し長い文章がありましたけども、もう少し簡潔に、1番目に、元気なまちだと、それから2番目に、安心して</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>暮らせる共生のまちだと、3番目に、参画と協働だというようなことを、わかりやすく簡潔にあらわした方がいいだろうということで、きょう別紙の方であげさせていただいております。</p> <p>特に、元気なまちの中を、少し皆さんも見ていただければと思うんですが、やはり元気なまちというのは、いろんな意味で、人とか物とか情報とか種々あるんですけども、まず第一に、地域に生きる人々が元気でやっていかないと、まちが元気にならないだろうと。それも、自立して個性豊かに発揮できて生きがいあるまちですね。それで、個人としても、役割・意義を見出しながら活動していける。生きがいを実感できるような元気なまちを目指したいということが1番目になっています。</p> <p>それからあと、キャッチフレーズにいろいろお話が出ましたけれども、地域、これまで両市町で培ってきました伝統とか産業とか自然とか、かなりたくさんの地域資源がありますので、それをうまく融合を図っていききたいと、あるいは地域循環を促進させて、循環というのは、経済の活性化、地域内への循環、文化の振興というようなことを踏まえて、現在ある潜在的な能力をある程度生かしながらやっていけば、かなり活力ある元気なまちが創造できるのではないかと。それをもって、一人の元気なまちということで、ここに理念、1番目にあげています。</p> <p>それから、2番目に、安心して暮らせるということで、人と人とのつながり、地域が一緒になってくるわけですから、その根本としてのつながり、ふれあいを尊重したいと。それから、思いやりとか支え合い、助け合うという心をはぐくむ、大切にする。そういった豊かさと優しさが実感できる地域づくりをしたいということと、それから、あと、共生のまちづくりということで、暮らしを支える豊かな自然といったものを、やはり次の世代に受け継いでいくということが必要であろうということで、そのために、自然環境を保全していくということ。それから、循環型の社会の</p>



発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>構築を進めていく必要があるだろうということで、人と人、人と自然が共生を図って、安心して生き生きと暮らすことができるまちを創造していきたいということで、2番目にあげさせていただいております。</p> <p>それから、3番目に、市民主導ということで、いろいろな課題が、これまで行政側が手をかけてやってきた部分を身近な地域の課題は、身近な、自分たち市民がやっていく、そういうことを市民を高めるということにつながるんじゃないかと。先ほど、地域の総合支所というお話もありましたけども、その中でも、やはり具体的な自立したコミュニティーですね、その地域、地域が、小さなコミュニティーが形成されるような市民からの、それから、市民だけじゃなくて、地場産業とかいろいろな企業がございまして、市民・企業・行政がまちづくりにかかわる多様な主体がそれぞれ役割を認識した上で連携して、新しい時代にふさわしい既成概念にとらわれないまちづくりを展開していきたいと。しかも、市民主導による参画と協働によるまちづくりということを3番目に、これを大きく包含される理念じゃないかなと思いますけども。この三つを簡潔に理念というふうにあらわさせていただきました。これを支えた上で、最後、キャッチフレーズという形で将来像を展開させていこうかなというふうに思っております。</p> <p>以上です。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>ただいま、きょういただいた資料に基づきましてご説明をいただいたわけですけども、このことについてのご意見、ご質問等ございましたらお受けしたいと思います。</p> <p>ございませんか。</p>
コンサルタント千田氏	<p>根底に流れるものでございますので、ちょっと感覚おかしいなということであれば、一応、これを支えにして、将来像を考えていただければと思います。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>わかりました。</p> <p>それでは、次の、4番目の議題ですけれども、新市の将来像について、まず、決定方法などについて事務局よりご説明いただき、その後、コンサルの方から説明していただきたいと思えますけれども。</p>
事務局長	<p>それでは、資料1にありますように、小委員会ワークショップ、その後事務局、両市町で検討を踏まえ、本日、大きく分けて四つ提案させていただきたいと思えます。</p> <p>この後、コンサルの方からは、とりあえず説明をいただきますが、先ほど、理念を決定いただきましたので、その内容を踏まえてご検討をいただきたいなと思えます。</p> <p>また、将来像の選定につきましては、小委員会で、これちょっと案なんですけれども、小委員会で一つに決定してしまって協議会で報告する方法、また、協議会全員の意思が示せる場で決定すると、いろいろあるわけなんですけれども、事務的に考えますと、協議会委員全員の意思が示せる場で、これら協議、検討内容を委員長の方から報告いただいて、それから決定した方がいいのではないかと思います。</p> <p>といたしますのは、19日に協議会がございます。ちょっとご検討いただいたことを、小委員会委員長として複数の案を選んでいただいて、事前提案をしていただく。そして、4月の協議会で協議いただく。きょう、4点なりこの委員会で2、3点に絞っていただいて、小委員会としてはこれでという提案をしていただいて、それをきょう決めていただきたい。協議会への提案方法と、それから、この案件について、二つちょっと協議をいただいたらうれしいと思えますので、よろしく願います。</p>
長谷川委員長	<p>事務局の方から、こういう形でちょっと説明をいただきましたけれども、コンサルの方から説明していただきたい。</p>
コンサル外千田氏	<p>それでは、お手持ちの資料1の方に、将来像についてというこ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>とで、今事務局からもお話ありましたように、とりあえず4案です  ね、大きくくくってご提案させていただいてます。それで、資料の裏のページの方を見ていただければと思いますけども、これは、前  回ご紹介しましたように、策定の視点ということですね、小委員会とかワー  クショップの方であげられたキーワードを最終的に見てきたということと、  それから、新市のキャッチフレーズですので、地域の特徴とか、特性が生か  されたものいいだろうなということで、豊かな自然とか地場産業とか黒田庄  牛とか、いろいろ出てきました。そういった話もありました。それから、今  ご議論いただきました基本理念みたいな話ですね、そういったものが活か  せてるのかというような部分を、ちょっとピックアップしまして、参画と協  働とか人間性とかいろいろあったかと思ます。</p> <p>それから、将来、キャッチフレーズですので、10年後への計画、ある  いはそれ以上の将来を見据えてということで、そういう目指すべきまちの姿  がイメージされているのかなど。あるいは、キャッチフレーズですので、語  呂合的ということ考えています。</p> <p>それで、その次の方に、前回まちづくりのキーワードの中でも、特に、少  し網かけの部分、前回でも、やっぱりこういうフレーズがいいねということで、  いろいろいただいたもの、「個性あふれる」とか「潤い」とか「つなぐ」とか、  「共生」とか「共感」とか「生き生き」とか「きらきら」とかあったん  ですけども、それから、その次のページの方には、実際キャッチフレーズ  の方もまた検討いただいた中で、「いのち生き生き自然きらきら共生のま  ちにしわき」とかいろんなフレーズが前回選考されてきたものについて、  それを一つにまとめまして、レジユメの方に4案という形でまとめさせて  いただいたと。</p> <p>第1案が、前回の1番目に、とりあえず案として出させていた</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>だいたいのものを少し先ほどのキャッチフレーズとかそういったもの、思いとか理念とかを踏まえながら、一つ、1案と言いながら、二つ書いてありますけども、さっき言いました序論とかいろんなものも踏まえて、一つは、「豊かな心 輝く自然 うるおいと活力があふれる北播磨の共生都市」。あるいは、「共生都市」は同じですが、「豊かな自然に包まれたうるおいと活力のあふれる北播磨の共生都市」と言うように、少し順番を変えて作っております。これは、やはり地域の豊かな水・緑、それから、人々の潜在能力を引き出したいとか言うような理念に反映したような内容になっております。</p> <p>それから、第2案の方は、前回、いろいろ「へそ」と言うのが「いのち」という部分とつながるし、あるいは「きらきら」とか「自然」とかそういうフレーズもいいんじゃないかと、「共生」という話もあるねということで出てきた話で、「いのちイキイキ 共生のまち にしわき」とか「いのちイキイキ 自然キラキラ 共生のまち にしわき」とか、前回フレーズもいただいた中で、少し、西脇を平仮名で表示してみたりとか、そういうような組み合わせの方も少し検討、こちらの方でつけて加えさせていただいております。</p> <p>あと、この中身についても、「人と自然」とか、あるいは「いのち」とか「イキイキ」とか「キラキラ」とか言うように、今輝くようにということと自然環境と社会の共生を目指しているということも触れさせていただいておりますので、これから、将来像のフレーズの説明も、将来像を示した中で、その次に、こういう意味合いがあるんですよというものも示させていただいております。</p> <p>それから、第3の方で、「緑が輝き ひと集う 優しさを育くむまち にしわき」ということで、そのあたりも、市民一人ひとりが将来に向かってというようなことも踏まえて、生き生きと安心</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>した生活を送れるようにということで、先ほど理念にもありましたように、優しさをはぐくむというような意見と誰もが人間らしさを実感できるようなまちにしていくというのを踏まえた将来像の方を提案させていただいております。</p> <p>それから、第4案の方も、「恵まれた自然と文化の中で心豊かに暮らせる北播磨の拠点都市」と言うような、少し将来的な検討も踏まえた検討といたしますか、もう少しステップアップしたようなイメージもこの中に取り込んでいるというような案をあげさせていただいてます。それも、必ずしも、今ご議論いただくのは、この4案に決めるということじゃなくて、「いのちイキイキ」とか、こういったものをもう少し組み合わせとか、前の方がいいよというものも当然あるかと思えます。これとこれを足す方がいいよと言うのも出てこようかと思えますので、そのあたりの議論をしていただければなど。</p> <p>必ずしも、今回、これで1案に絞ると言うことではなしに、例えばこの4案、絞りきれないので4案を出したとしてもそれでいいですし、協議会の方で幅を持ってご検討いただけるように、この中で何案かに、数案を提示していただきたいと。提示も、それに限ったことじゃなくて、組み合わせとか、こういうのもいいよということも踏まえていただければなど。</p> <p>それから、あと、サブタイトルにつきましては、このレジюмеにありますけども、それぞれのものをするために、逆に、この1案に対して、2案が例えばサブタイトルでいいよとか、2案に対して3案がサブタイトルでいいじゃないか、というのも出てくるかと思えますので、サブタイトル、将来像を補足するためのサブタイトルもつけてもいいんじゃないかなというようにも思ってまして、そのあたりも総合的にご検討いただければなどと思えますので、よろしく願います。</p> <p>最終的には、協議会に提出する案ですけども、決めて提示させ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p>長谷川委員長</p> <p>事務局長</p>	<p>ていただければなと思いますので、よろしく願います。</p> <p>以上でございます。</p> <p>とりあえず、今、縷々説明いただきましたけども、今提案いただきました4案にとらわれずに検討していただいて、そして、ある程度絞り込みをお願いしたいと思います。</p> <p>黒田庄町の一つ、これちょっと抜けたるんですけども、ちょっと言いますので、3案とよく似てるんですが、「人集う」これ同じですが、「心和む」、「技光る」は加東市がお使いになっていますので、「匠さえる やさしさのあるまち にしわき」というような提案をいただいております。5案としてますので、それも含めて、ひとつご検討をお願いしたいなと思います。</p> <p>よろしく願います。</p> <p>黒田庄町の職員の案です。</p>
<p>長谷川委員長</p> <p>小林副委員長</p>	<p>今1案追加されましたけども、これを含めて、ひとつ話し合いをお願いしたいと思いますが。</p> <p>先ほど説明いただきましたまちづくりの理念を踏まえまして、「いのちイキイキ 自然キラキラ 共生のまちにしわき」、すごくわかりやすく、やさしい気がしますけど。</p> <p>西脇市の小林ですけど、とりあえず、私、「いのち」ということを言わせていただいたんですけども、先ほど、この説明にもありますけど、「いのちイキイキ」という言葉の中には、やっぱり産業の活力というようなものも含まれてるだろうし、まちが生き生きしてるというような、非常に私はいいいんじゃないかなと思います。その言葉が、ある程度すべてを物語ってるん違うかなというように思うんですね。</p> <p>もう一つ言いますと、北播磨という言葉自体、ちょっとこう響きとしてはあまり、実際北播磨なんですけども、いい雰囲気じゃないような。そういう地域をあらわすように、それはもちろんサブタイトルが何かを持ってきて、ここのキャッチフレーズだけで、</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
東野委員	<p>簡単な言葉の方がすっきりするんじゃないかなというふうに思うんですけどもね。そしたら、やっぱり「いのちイキイキ」という言葉が非常に、ある程度すべてを物語ってるかなというふうに思います。</p> <p>黒田庄町の東野ですが、今こういう治安の中で、「豊かな心 輝く自然 うるおいと活力あふれる 北播磨の共生都市」が、北播磨とか加古川とか、ちょっと同じような思いがします。それより「いのちイキイキ 自然キラキラ 共生のまち にしわき」、下側ですね、人と優しさをはぐくむまち西脇、その辺いいんじゃないかと思います。今、黒田庄の方が言われましたように、事務局案の中に、一つ、「人集い 心なごむ 匠さえる やさしさにあえるまち にしわき」、この辺もいいなと思うんです。</p>
西山委員	<p>共通委員の西山でございます。私も、この第2案の「いのちイキイキ 自然キラキラ 共生のまち にしわき」が、キャッチフレーズという意味では、あまり難しい言葉は使いたくないですし、ぱっと頭に入ってくる文面で行きたいなというのがあります。消去法でいくと、上は自然的に消えるかなと。あと、「西脇」は漢字よりも平仮名の方がやさしいかなと。僕も小林さんと一緒に、「北播磨」というのはあまりぱっとしないので、どうなのかなと。何か一番いいのを決めちゃうと二番目、三番目は決めにくいというのがあります。私は第2案が一番いいという思いがあります。</p>
宮崎委員	<p>ちょっと個人的なんですけど、今までの通り一遍のキャッチフレーズめいたものになってくるんですけども、第1案の1番上の、「豊かな心 輝く自然」という文言が、北播磨に関しては同じような意見ですけどね、この内容は、結果的に理念の3項目をあらわしているんじゃないかないうふうに何か共感が持てるという感じがします。</p> <p>逆に、サブタイトルの方を、もっと何かすかっと入ってくるような端的な、よそでよく使ってるような、「好きやねん、西脇」と</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
小林副委員長	<p>かね、そういう感覚のものでぼんと入ってくるようなものがええんやないかなと、こういうふうに思います。</p> <p>非常にすっきりしてるんですけど、言葉として播州弁に変えるという余地はないんですな。</p>
浅田委員	<p>前の委員会のときに、片仮名入れたら今風やないかしらというようなことで、生き生きときらきら、片仮名にしてみたらどうやるかいうて言ったと思うんですけど、ここのキャッチフレーズのこの案のところ見たら、下の行なんですけども、「イキイキ キラキラ」というのが平仮名でも優しいかなと、今こうやって文字で見たらそう思うんです。片仮名の「イキイキ」「キラキラ」より、平仮名も優しいかなと思ったり。</p>
小林副委員長	<p>イメージ的に優しいのは平仮名ですよ。片仮名はちょっとかたい。</p>
浅田委員	<p>ここまで平仮名が入ってきたりしたら、「イキイキ」も平仮名、これも見たらこれもいいかな。平仮名で行くのもという思いも、前のときとはちょっと変わってきたんですけども、文字にして見たら、この方が優しくないかなと思ったり。言葉はこれで、こういう言葉でキャッチコピーで私も賛成です。これ二つ目の方に。</p>
長谷川委員長	<p>今のお話の中で、「いのちイキイキ 自然 キラキラ 共生のまち西脇」、これも圧倒的に多いように思います。今、提案いただいたのは、一つは、「イキイキ」を平仮名にしようかということと、それから、最後、西脇は「にしわき」と表現しようかとしておりますが、ご意見どうでしょうか。</p>
岩崎委員	<p>例えば、「いのちいきいき」、今浅田委員がおっしゃったように、上から全部平仮名になりますね。そのときに、例えば、この「いきいき」を、これは結果的に、ひょっとしたら残るものになると思うんですが、その「いきいき」の平仮名を、字体を変えた平仮名というような、字をした方が、この頭の「いのち」を漢字にするというのも、ちょっと何かおかしいような気がしますのでね、</p>



発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>「いのちいきいき」、同じ字体で平仮名ばかりというのも、何かこう、「いきいき」を強調する意味で、「いきいき」を字体変えて、花文字のような何かこう表現できないかなという、何かそういう気がするんですが。</p>
浅田委員	あと一つ二つ出してもらわんといけませんわね。
長谷川委員長	そうですね、これだけというわけにはいきませんね。
東野委員	<p>「未来」という、「未来をつくる」、そういう小委員会が出た、未来とかそういう将来的なそういう文言も欲しいような気もしますね。</p>
岩崎委員	<p>キャッチフレーズはできるだけ簡単にして、少しサブタイトルの方に入れていく。ある程度、具体的な将来の方向性みたいなものを持たしたらどうかなというイメージがあるんですけどね。</p> <p>事務局の方にお尋ねしたいんですが、これ第1案からずっと、この方がいいやろという順番で選ばれたんですか。それとも順不同ですか。</p>
事務局長	出てきた順番に上げとるんです。
岩崎委員	<p>ああ、そういうことですか。事務局案としてこれがいいなという順番にあがってるのかと思って。</p> <p>3案ぐらい、ここから抜粋してということですね。</p>
	<p>どうしても私はいいと思うんですが、なかなかこれがだめでこれがいいというようなことはなかなか言えませんのでね。やはり皆正直思とる思うんですけど。だから、バランスよく、例えば、2案の中やったら、どちらか一つ選ぶ。例えば1案の中やったらどちらか一つ選ぶというような形で、2案の中のこの二つを出すということじゃなしに。</p>
長谷川委員長	じゃあ、この第1案の、「豊かな心 輝く自然 うるおいと活力があふれる共生都市 西脇」。
小林副委員長	共生都市、それは漢字ですか。
長谷川委員長	平仮名でいきましょか。

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>それから、先ほど第2案で出ておりました「いのちイキイキ」、この「イキイキ」を平仮名でフォントを変えて強調する、「自然キラキラ」はそのまま、「共生のまちにしわき」、これに。</p> <p>もう一つですけども、もう一つぐらい選びたいと思いますけども、これは、先ほど事務局さんおっしゃってた。</p>
東野委員	事務局案の「匠さえる」。ここでは「匠さえる」が「技光る」になって、それを換えられたと思うんですね。
事務局長	3案は、これ一つあるんですけど、「技」というのは、加東市に出ていますので、ちょっとおもしろくないんであれなんです。いうことで、今「匠」これは黒田庄町の職員の方から出していただいた。
宮崎委員	事務局案で出されとる「人集う 心なごむ」やなしに「人集い」の方が語呂的には入りよいんとちゃうやろか。
事務局長	幹事会でも両教育長がいらっしやったんですけども、国語的に言えば「優しさのあるまち西脇」の方がいいんちゃいますか言うて。
長谷川委員長	3番目、今、黒田庄町の職員の中から出とる案ですけども、「人集い 心なごむ 匠さえる やさしさのあるまち にしわき」、これでいいですか。
東野委員	出されたらどうですか。
長谷川委員長	この3案で大体よろしいですか。
東野委員	「緑輝き 人集う やさしさあふれるまち 西脇」、これもいいんですけども。
長谷川委員長	今東野委員の方から、この第3案の、「緑輝き 人集う やさしさを育むまち にしわき」という案出ていますが、これどうですか。
宮崎委員	<p>それでは、今もらったこの案で。</p> <p>どうなんですかね、ほぼもう協議会の方で、ほな四者択一みたいな感じで決まるもんなんか、それとも、公募のような形は、も</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局長	<p>う時間的には無理なんですね。</p> <p>蛇足なんですけど、よその協議会で新市の名前を決めるときに、協議会の委員さん方の決選投票されているとやられてます。これをそこへ持っていかか思とんですけど、この案件を。自分が決めたいとか自分の意見とかということじゃなしに、協議会の委員会さん方で決めてもらうと。そのために小委員会で案を作っていたきたい。</p>
長谷川委員長	<p>それでは、私どもの案としては、今言いましたこの4案で受けさせてもらいます。</p>
事務局長	<p>もう一つ黒田庄町から出てきました「人集う 心なごむ 匠さえる 優しさのあるまち にしわき」というのが。</p>
東野委員	<p>「匠さえる」というのはどういう、いろんな意味があつて。ちょっと説明を、難しいので。</p>
小林副委員長	<p>この一番下の、「優しさを」という、それだけ「を」というのが入ってるんですけど、「優しさの」ではあかんのかいね。</p>
宮崎委員	<p>「緑が輝く」「人が集う」じゃなくて。</p>
小林副委員長	<p>この「を」だけがちょっとね、そこだけ「を」がついてるんですよ。小さいことはまた後でもいいんですけど。まあ「育む」という言葉が言いたいと思うんですけど。</p>
宮崎委員	<p>そこが言いたいのでよろね。</p>
東野委員	<p>「優しさ育む」の「う」を言い直したら。それの方が。</p>
宮崎委員	<p>その上から三つ目のやつも、「人集う」も、それも「い」の方が勢いがいいですね。</p>
長谷川委員長	<p>そういう意味でいくと、「優しさのあるまち」も。「の」を抜いて「優しさあるまち」でも通る。</p>
宮崎委員	<p>接続詞入れない語句の方がすっきりしてますよ。</p>
小林副委員長	<p>だから、そういう意味で、その一番上の「うるおいと活力あふれる」というふうにした方が、「活力が」となるよりもね。</p>
宮崎委員	<p>文章がつながってしもたらだらだら長いですね。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	これでいいですか。こういう形で提案をしていただきたいと思 いますけれども。
コサカタ千田氏	先ほど、ちょっと理念のペーパーがありましたけども、ここ、 理念とそれと将来像ですね、これあげさせていただいてますけど、 これの説明文としてこの文章を書いているんです。ここのキャッチ フレーズに、あるいは文章も踏まえながら書きますけれども、こ の後ろの理念も一体的に書く関係上、少し前書きの部分も必要に なってくるかと思しますので、大体、こういうような文章を見て いただきながら、キャッチフレーズも説明をさせていただくとい うこの文章をつけ足していただいた上で、将来像を確定させてい ただくということで、ご了解いただきたいなと思います。
長谷川委員長	ありがとうございました。
事務局員	次に、5番目の、新市まちづくり計画で、
事務局員	すみません、決めていただいて委員会から協議会に提案してい ただくわけですけどね、サブタイトルとかはもう要りませんか。
長谷川委員長	これに対するサブタイトル。
事務局員	これまでの小委員会で、この将来像についてワークショップを 含め協議いただき、本日の小委員会で協議会へ提案する将来像に ついて最終案の決定をいただくわけですが、先ほどの協議の中で、 メインタイトルについては決定いただいたんですが、基本理念に 照らしてそれぞれのキャッチフレーズでどういった部分が言い足 りないのかといったことや、そういった部分を補うという意味で のサブタイトルをつけるのかつけないのか。また、つけるとすれ ばどういったものをつけるのかという点についても協議いただき たいと思うのですが。
長谷川委員長	今こういう提案をいただきましたけど、どうですか。
東野委員	当然、サブタイトルがついてるというものだと思ってました。 その辺、考えていただいて、
事務局員	事務局で考えてもらってということですが、この将来像につい

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局長	<p>ては、ここまでこの小委員会で検討いただいていたものですから、やはりこのサブタイトルについても委員さんそれぞれのご意見を伺いながらでない。事務局で検討したのではどうかと思いますので、この小委員会で決めていただいた方がいいのではないかと思いますけども。</p> <p>とりあえず、協議会と同じように、この将来像について、事前提案します。</p> <p>この四つの事前提案をしていただいて、ひと月の間に考えとってくださいよということやろ。決選投票しますよと、こういうことやろ。</p>
事務局員	<p>ほな、サブタイトルつけてない。</p>
事務局長	<p>ここでサブタイトル入れたら、まずこれを決めてからサブタイトルを決めればいいのでは。</p>
小林副委員長	<p>メインテーマ決めてから。</p>
事務局長	<p>サブタイトルまず決めて、両方とも一緒にいこう思たら難しいぞ。</p>
宮崎委員	<p>それぞれ四つにサブタイトルつけるより、一つに確定してもらわんことには。</p>
事務局員	<p>キャッチフレーズとサブタイトルは大体セットじゃないんですか。</p>
コンサルタント千田氏	<p>大体ですね。それを補足する意味でサブタイトルつけたりとかしますので、そういうことにどちらかというより、ある場合もありますし、それから、もし統一するんであれば、先ほど言われたように、「好きです」とかという表現にしては、それを、先ほどありました播州弁で言いかえるようなものをつけるとか、あるいは前回コンサル案で「次世代につなぐ持続可能な地域社会の創造」という、ちょっと一つかたいものを入れてますけども、そういう将来であってほしい像みたいなものをもう少し念を入れておくということになると思いますけれども、もしこれで、一言で言いあ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p>事務局長 事務局長 事務局長 事務局長 コンタクト千田氏</p>	<p>らわせないものについて、もう少しつけてほしいというものがあればこれにつけていただきたいと思います。</p> <p>やっぱり播州弁でこういうような地域像という部分と、それから、これでちょっと言い切れない部分をちょっと考えていただければ。もしそれでも、きょうはちょっと考えていただけたらなあ、まだ時間が若干あると思いますので。</p> <p>サブタイトルつけて提案するのか。</p> <p>提案する場合はそうだと思いますけど。</p> <p>四つともサブタイトルつけて提案したらええやん。</p> <p>つける、つけないも含めてですね。</p> <p>もう1番だと結構長くて、ある程度言い切ってるのでいいよというのもあるかも知れませんが。</p>
<p>宮崎委員</p>	<p>提案させてもうて、文言を組みかえみたいない感じで変更されないという前提でサブタイトルを考えていいんですね。3番目のこのやつにつけて、協議会の方でいじられへんという前提で考えたらいいんですね。これは、こう提案させてもらう確定のものと、前提やったら考えると思うんですけどね。</p>
<p>事務局長</p>	<p>どういう提案をなさいます。ていうのは、このままいきますと、四つ仮に委員さん方選ばんかいということですね。わしら他にええ意見があるがいという場合もありますしね。</p>
<p>長谷川委員長 小林副委員長</p>	<p>そうですね。</p> <p>サブタイトルは要りますか。これを読めばだれでもわかる言葉に対して、まだその説明書きのサブタイトルというんですか、内容を説明するためのサブタイトルやったら必要ないと思うんですが。これ見れば一目瞭然でわかると思うんですが。わかりにくいキャッチフレーズに対してはサブタイトルというのはありますけど。わかると思うんですけど、どうしてもサブタイトルというのには必要なんですか。つけないかんもんなんですか。まずそこから聞きたいんですけど。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
コソカト千田氏	<p>例えば、2番目に、「いのちいきいき 自然きらきら」というのがありますけれども、これは理念を表す、例えば、住民主体のまちづくりとなってというこういうのつけたら、さっき理念出てますけどこれをもっと強調したいというのがあればつけてもいいと思うんです。これは理念につけたらいいよというのであれば、それでいいと思いますし、この中では、せつかくですから、強調する部分でつけることに。ですから、別に一個しかつくってないところもありますし、必要ないということでしたらこれで。そのとき議論がなかったもんですから、ということによろしいですかというような問いかけをさせていただいてます。</p>
長谷川委員長 宮崎委員	<p>今、サブタイトル出せそうですか。</p> <p>漠然としてしまうんですけど、文言は一つ一ついろんな意味があると思うんですけども、サブタイトルとしてつけるんであったら、時代がどう変わっても変わらん思いうものが一つあると思うんですね。それが、さっきちょっと言うたような、「好きだ」とか「愛する」とか、そういう心いうものは時代が変わっても変わらんもんやと思うんです。そういうもので何か、どれになったとしても、マッチするようなものが何か要るんじゃないかなと思いますけども。</p>
事務局長	<p>5分休憩していただいて、その後すぐ意見出していただいたら。今ちょっと停滞してますんで。</p>
長谷川委員長	<p>休憩いたします。</p> <p style="text-align: center;">（ 休 憩 ）</p>
長谷川委員長	<p>それでは、引き続いて協議していただきたいと思います。</p> <p>まず、今この4点を決めていただきましたけども、これについて、サブタイトルをまずつけるかつけへんかということからスタートしたいと思います。</p> <p>いずれにしても、確かに一つの冊子として本としてできた時には、若干サブタイトルがあった方が、感じとしては非常によろし</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
岩崎委員	<p>いですし、意味もわかりますんで、そういう意味もあるんですけども、きょう、ここでサブタイトルをつくるとなると時間的に難しいし、ちょっと案も出てませんので、まずつけるかつけないかの意見をそれぞれお教え願いたい。</p> <p>岩崎です。</p> <p>4案の中から一つ決まった後、サブタイトルをつけるというふうな、サブタイトルをつけるとすれば、いいかげんにはつけられませんので、この場で、短時間でつけるというのは非常に難しいと思うんですね。それで、協議会に諮っていただいて、例えば、今さっきの案に決まったとすれば、それに対してサブタイトルをつけるということで、ご了解はとれないんでしょうか、協議会では。</p>
長谷川委員長	<p>とれないことはないですね。そういう形で提案させていただいて、これが決まった後、それに対してサブタイトルつけるという。</p>
岩崎委員	<p>サブタイトルまで含めて、協議会に諮らないといけないものなのかどうかというのが疑問なんですけど。</p>
長谷川委員長	<p>そのあたりどうですか。</p>
事務局員	<p>通常はサブタイトルつけて諮ると思うんですよ。ちょっとコンサルさんに答えていただきたい。</p> <p>普通はサブタイトルつけたものを提案するという形ですわね。それが多いですね。</p>
コンサルタント千田氏	<p>そうです。セットで考えられてるのは、それで一つだという認識で、サブタイトルが独立するということはありません。</p>
岩崎委員	<p>サブタイトルをつけて一つのものということですね。</p>
コンサルタント千田氏	<p>そうです。逆に、これ一個であれば、これで完結してますよということになります。それで、逆に、これだったらちょっと言い足りないことや何かあるからサブタイトルをつけて検討してもらったという感じ。</p>
長谷川委員長	<p>そうですね。つまり、説明しててもこれだけではわかりづらい</p>



発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
東野委員	<p>ところがちょっとあると思いますので当然サブタイトル付きで。</p> <p>宮崎委員が言われたちよつとこうやはりすべて明瞭簡潔につけていただいたらどうかと思いますけども。</p>
長谷川委員長	<p>宮崎さん、どう思われますか。</p>
宮崎委員	<p>普通は、さっき言うたような、単純なほんまに子供だとかお年寄りでもぱっと入ってくるような。そんなサブタイトル、大きなそういう感じやなしに、ぱっと感じれるようなもんが何かつけられたらなとは思いますがね。それが、補足するような意味合いの大事なもんやなかったとしても、全体的にこういうまちを目指しとんねやいう、そういうような、さっき言ったような、「好き」とか「愛する」とか、そういう地元を好きになるような、愛するような、そういう意味合いも入ったたらトータルのいいんと違うかなと。</p> <p>文言の中でちょっとわかりにくいと思うのが、共生都市いうたら何なんやいうのがちょっとわかりにくいというのがあります。</p>
岩崎委員	<p>コンサルの方にサブタイトルをお任せして、その中から我々が選んだら。それを我々が意見として採用させていただくとか、はっきりとプロですからね。一番熟知されとる方ですから。</p>
長谷川委員長	<p>いずれにしても、今時間的にちょっと余裕がないと思うんですわ。ただ、19日には発表せないかんという立場になりますとね、つくるのはちょっと、今まで出てきたキャッチフレーズ等のいろんな中から、わかりやすいところでコンサルさんにお作り願えたら非常にありがたいと思います。</p>
コンサル千田氏	<p>こう見ますとね、四つありましたけども、この四つで、例えばこれはこの一個だけで別にいいじゃないかというものと、それから、このキャッチフレーズはやっぱりこういうことを言いたいというのがあると思うんですね、フレーズではなくて。さっき言った、「市民主体」を入れた方がいいとか、「共生」を少し紹介する</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>方がいいんじゃないかとかあるいは「好き」とか「愛着」に関する「愛着のあるまちづくり」を入れた方がいいんじゃないかとかいう、どれかに必要なものと必要でないものがあると思いますので、それをちょっと検討していただければ、一番目は結構長いからもういいよと言われるかと思えますし、あるいは2番目もすっきりした方がいいよというふうと言われるかもしれませんが、そこをちょっと決めていただければなと思えますけどね。</p> <p>今コンサルの方はこういった形で、一つの文章になってなくても、我々の気持ち、どんなところが欲しいということをご提案してくれということなんですけども、それでは、それを受けて、一番上から一つずつちょっとここに書いてもらいましょか。それをまたまとめていただく形でいってもらいましょか。</p> <p>例えば、ちょっと書いてもらいましょか。それから発想するから。「輝く自然」というのは文化型社会といった考え方。</p>
東野委員	<p>「豊かな心」「優しさ」とか、単純になれば、「思いやりの心」とかね。</p>
浅田委員	<p>出せ、出せでいかなしょうがないですからね。言葉としては、「次世代に続く」とか「未来に続く」という言葉とか、それとか、まちづくりの理念に沿って言えば、「市民主導による参画と協働」こういう言葉が入れば、どの四つの中に入れてもいいけるんじゃないかしらとは思いますが、それ一個ずつに考えていったら、すごい時間もかかるし、何というか、ソフトなタッチですやんか、皆、言葉づかいとか単語自身が。ちょっと説明ではきちとした、きちつというのか、その文言にないことで説明を、補佐じゃないことでしていくことが必要やと思えますので、もうキャッチコピー自身はようようわかる意味ですので、そこにはない意味で、若者が、西脇はそれで、「好きです、西脇」というのがここにもかかっていると思うんですけども、あるんですよ、「好きです、西脇」という言葉が。それは、それを入れられたらいいのになと思っ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>たんですけど、「西脇」という言葉が入ってますので、キャッチコピーの中に、だから、あえて入れるとすれば、どこかに、「好きです」とか、宮崎さんが言われたように、心の言葉を入れてもいいかなと思ったり。「参画と協働」とか、ここに入れられてる、「持続可能な地域社会の創造」、そういう言葉できちっと締めくくるというのもいいんじゃないかしらと思うんですけどね。</p> <p>それが、そのサブタイトルがどれになっても、お使いいただけるといようなものではいけませんかね。このキャッチコピーにはこのサブタイトルというのは、今なかなかね、時間的にも疲れていますし。</p>
東野委員	<p>専門的な立場で考えていただいた方がええかもわかりませんね。</p>
宮崎委員	<p>これ一つ、言葉が悪いかもしれへんねんけど、今浅田委員が言われたこと、今の内容もちょっと含めとんですけど、「未来を見据え、希望豊かに老いを楽しむ、市民主体の地域社会」というかまあ適当にそこら。その文言とか、あと思うのは、先ほど、あるとしたら、「好きです、西脇」とか、あと、夢を持てるような文言、そういうたぐいの内容でサブタイトルしていったら、すべてに当てはまるじゃないかと思うんです。</p> <p>この理念の中で、老いを楽しむとか老後をどうするという内容のもんが全然入ってないと思うんですよね。だから、そこでちょっと付け加えたらなとは思うんですけどね。老いを楽しむという言葉がありましたので。たらたら長うなるんやなしに、端的にこの文章、この文章、この文言、この文言でぼんぼんと言うていったら何かできるんちゃうんですか。</p>
小林副委員長	<p>そしたら、先ほど言ったような「住民主体のまちづくりを目指して」というふうにするとか、例えば、それから、「みんなに愛されるまちを目指して」とかね、簡単な文章にしてもいいし、ちょっとこの辺は長いですから。あるいは未来につなげるようなも</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	のとか。
小林副委員長	「やさしさを育むまち」の中で、幼児から高齢者まで安心と安全が確保されるとかそういうのがいいな。
小林副委員長	だから、今、非常に、本当に具体的にその方向性と、ごく簡単にぱっとうまとめる方法、ちょっと今サブタイトル二つに分かれとるような感じがするんですね。
コンサルtant千田氏	<p>結局、4案とも、結構文章も実は長いので、割とシンプルな、今、「住民主体のまちを目指す」とか、「みんなに愛されるまちを目指す」とか、「好きです西脇」とかこのくらいが割と、確認したときにはいい雰囲気かなと。お互い長いものが二段、結局書いたときもありましたので、上が結構長いので、ちょっと下短くした方がバランスがいいのではないかなと。</p> <p>その三つくらいを少し、割とつないでやる場合には、メインとサブでやる場合にはよさそうなので、どうかなという感じには思いますけど。</p>
東野委員	それから、両方とも、「主体」とか「愛される」とか「好き」というような、上がない部分をフォローしている、目標が入ってる部分ですので、今聞いてていいように思います。
東野委員	将来像の下からこの4行、人間らしさが実感できるまちを目指し、この辺のこのような文言がいいですね。
コンサルtant千田氏	今言ったような言葉がここの中に盛り込まれていればということですね。それぞれの中に。
浅田委員	「市民主体のまちを目指して」とかね、「好きです、西脇」とかね、その辺の。
小林副委員長	その辺の月曜日にまた聞かせてもらったらそのようにしますので言葉の中からまとめてもらったら、もし要るとすれば。
長谷川委員長	今出ているような言葉の中から、と言うたらしかられますけども、何かそういったわかりやすい何か、サブタイトルお願いできます。

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
岩崎委員	<p>「好きです、西脇」というのが、今浅田委員や我々が使ってる言葉なんですけど、未来をちょっと入れるのであれば、「好きです、明日の西脇」とかね、今まで西脇で使ってない、「好きです、西脇」はしょっちゅういろんなところで書かれてる言葉なんですけども、未来をあらわすという意味ですからね。「好きです、明日の西脇」という、いつでも明日があるわけやから、そういう、サブタイトルやから余り長くない方が、今おっしゃったように簡単明瞭でかちっこう、しかも、上の部分と下のサブタイトルが合っていないとおかしいと思いますんでね。</p>
コンサルタント千田氏	<p>ある程度カップリングを考えていかなければということですね。</p>
宮崎委員	<p>「好きです！明日の西脇」というのが一つ。 好きですという言葉は、もうどの文章でも当てはまると言うんですけどもね。キャッチフレーズがどれになったとしても使えると思います。</p>
岩崎委員	<p>「西脇、西脇」になります。</p>
小林副委員長	<p>西脇ばかりになる。 さっきから「まちを目指して」という方が、ちょっとこうおさまりがつくような気もする。</p>
宮崎委員	<p>そうか、西脇をふるさとに置きかえるか。</p>
岩崎委員	<p>やわらかい言葉で「市民が主人公」とか。</p>
東野委員	<p>いやされる思いが含まれてるんですけどね、いやし。</p>
岩崎委員	<p>もうちょっと時間もらわんと、この場ではちょっと難しいような気がするんですけどね。ええ意見出てるから、事務局でまとめていただいて、19日まであとがないわけですから。</p>
東野委員	<p>何でしたら、個々にファックスで送ってもらったら。</p>
岩崎委員	<p>一応小委員会の意見ですから。それをただまとめてもらうだけだから。</p>
コンサルタント千田氏	<p>いろいろとご指摘もありますけど、この時間の中では決め切れ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>ないということ。それから、共通に考えられるのではないかというようにご意見もありましたので、それと、ちょっとカップリングでこれとフィットするものを今決め切るのは非常に難しいと思いますので、一応この4案のメインのタイトルだけを協議会の方に上げさせていただいて、セットで上げるのが通常なんですけど、決め切れないということで、一つ、四つのメインだけ上げさせていただいて、それで、決まったときにまたやるとか、あるいはサブタイトルに変更したということで、例えば、先ほど共通で使えるものもあるよということで、それも少し参考、検討事例ということで上げさせていただくということによろしいでしょうか。</p> <p>そうですね、そういった形で、とりあえずこの4点と、それからということ。</p>
コンサルタント千田氏	<p>そうですね、通常はね、メインとサブがきちっと固まった段階なんですけど、ちょっと難しいようなんです。あと、先ほど言いました、ちょっとこれがいいんではないかという案を少しカップリングいうんですか、サブと検討事項ということで。</p>
長谷川委員長	<p>そういう形で、とりあえずは一つあげていただきませんか。そういうところでお願いしたい。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、今、何かあやふやになりましたけれども、とりあえずこの4点にサブタイトルをコンサルさんの方にお考えいただいて、ということでもういかせていただきたいと思います。</p> <p>そしたら、いよいよ5番の、新市まちづくりの将来構想部分の中間報告を事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局長補佐	<p>それでは、失礼いたします。</p> <p>事前に配付させていただいております新市まちづくり計画素案の方をちょっとごらんいただきたいと思います。</p> <p>事務局、また、両市町で検討を重ねさせていただきまして、前回2月の小委員会で配付させていただきました資料、素案につき</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>まして、若干の修正なり、また追加させていただきました事項がございます。そういった箇所とあわせまして、概要について説明をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>まず、1ページから5ページにかけまして、前回、計画の前段といたしまして、合併の必要性和効果を上げております。前回の資料では、合併の必要性を六つに分けて説明をしておりましたわけですが、今回、その中の、「経済、社会基盤の整備」という項目を削りまして、五つにさせていただいております。これにつきましては、経済、社会基盤の整備が必要でないということではなく、次の、「豊かなまちづくりの実現」という項目に、これらの基盤整備というものは含まれるのではないかというようなことで、統合をさせていただいております。</p> <p>次に、6ページになりますけれども、計画策定の基本方針でございますが、これにつきましては、第2回の協議会で確認をいただきました新市まちづくり計画の策定方針に基づきまして内容を作成しております。</p> <p>次に、7ページから35ページまでにくんでございますけれども、地域の現状把握と、両市町の人口や産業、また、社会経済指標でありますとか生活環境に関する指標の数値、また、その推移を分析しております。</p> <p>7ページには概況、9ページには人口、世帯、引き続きまして、14ページには産業の関係を載せております。</p> <p>次に、21ページになりますけれども、ここでは、土地利用と交通の状況を上げております。</p> <p>次に、飛びますけれども、25ページには生活環境の状況でございます。</p> <p>次に、31ページに、財政の状況ということで書かせていただいております。35ページまでというふうなことでございます。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>そこまでが現状というようなことでございます。</p> <p>次に、36ページから38ページにかけては、今回の計画策定に当たりまして、関連する計画ということで、兵庫県の長期ビジョンでありますとか広域市町村計画、また、両市町の総合計画の概要をまとめたものを、36ページ、37ページ、38ページというふうにかきつけておきます。</p> <p>次の、39ページから44ページにかけて、11月に実施いたしました住民アンケートの結果概要をまとめたものでございます。</p> <p>45ページになりますけども、ここをごらんいただきたいと思っております。</p> <p>ここまでの検討事項を踏まえまして、また、小委員会で協議いただきました内容をもとにいたしまして、合併に当たって考えられる新市の主要課題についてフローチャートにしてまとめたものでございます。主要課題といたしまして、一番下側に書いておりますけども、7点上げております。内容について説明をさせていただきます。46ページからになります。</p> <p>まず、1点目が、「安心・安全なまちの創造」です。</p> <p>安心・安全なまちの創造ということで、少子高齢化が進むことによりまして、福祉サービスの充実が一層求められております。また、不透明な社会情勢の中、総合的な暮らしの安心・安全対策の強化も求められております。このため、住んでいるだれもが安心して暮らせるまちづくり、健康・福祉・安全生活分野の充実を課題としております。</p> <p>次に、2点目でございますけど、「快適な生活環境の整備」ということでございます。</p> <p>新市は、都市圏から比較的近接している一方で、豊かな自然環境にも恵まれております。このため、自然環境を生かした良好な居住性を高めるために、生活環境の整備を進めるとともに、小委</p>



発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>員会でもご意見いただきましたように、大阪、神戸などへのアクセスを強化することで、住みやすさを高めていくまちづくりを課題としております。</p> <p>次に、3点目でございますけども、「地域産業の振興と地域内の経済循環」です。</p> <p>現在、厳しい経済情勢により、地方都市は元気がなくなってきております。住民アンケートや若者の定住促進においても、産業関連施策の充実が強く求められております。このため、地場産業の再生、商業都市としての特性を高めていくとともに、循環型農業の振興にも取り組むという考え方でございます。また、地域内の産業、また住民活動を主体にしたグローバル経済に左右されない地域経済の循環といった新たな仕組みづくりが必要かと思っております。ここでは、産業の振興、経済の活性化を課題としております。</p> <p>次のページをごらんいただきたいと思っております。</p> <p>4点目になりますけども、「次世代を担う人材の育成」でございます。</p> <p>前回の資料は『ひとづくり』というふうになっておりますが、他の課題と表現の統一を図るために、『人材の育成』というふうに変更させていただきました。地域の活力を維持し、魅力を高めるため、子供からお年寄りまで、地域に暮らすすべての人の能力が発揮できるような特色ある学校教育、生涯学習の充実を課題としております。</p> <p>5点目は、「環境との共生と循環型社会の構築」でございます。</p> <p>地球規模での環境問題は、これからの人類共通の課題となっております。また、住民アンケートでも、定住したい理由に、豊かな自然環境を上げている人が非常に多いことから、利便性を求めていく一方で、暮らしを支え、いやしを与える自然との共生に向けた取り組みを課題としております。</p> <p>次に、6点目でございますけども、「共存による地域自治、ロー</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p data-bbox="293 1476 413 1509">事務局長</p> <p data-bbox="263 1944 443 1977">長谷川委員長</p>	<p data-bbox="480 315 1034 349">カル・ガバナンスの実現」でございます。</p> <p data-bbox="480 371 1353 696">ローカル・ガバナンスとは、聞きなれない言葉かもしれませんが、行政のみならず、まちにかかわる住民、自治組織、NPOなどあらゆる主体とともにまちづくりを進めていくことを言います。多様化するまちの課題に対応していくために、参画と協働によるまちづくりを進め、地域自治を実現していくことが重要でございます。ここでは地域自治のあり方を課題としております。</p> <p data-bbox="480 719 1353 819">次に、最後の7ページ目でございますけれども、「効率的・効果的な行財政運営」でございます。</p> <p data-bbox="480 842 1353 1111">厳しい経済環境、住民ニーズの多様化、また、国の地方財政制度の見直しなど、地方自治の財政運営がますます厳しくなっていくことが見込まれております。厳しい行財政状況を乗り切るために、効率的な健全な財政運営と、これからの自治体経営のあり方を課題としております。</p> <p data-bbox="480 1133 1353 1402">次に、48ページから55ページまでになるわけですが、ここにつきましては、先ほど説明なり協議をさせていただきましたので省略をさせていただきますけれども、ここまでの部分につきまして、本日の協議を踏まえた素案を協議会に提出したいというふうに考えております。</p> <p data-bbox="509 1424 762 1458">以上でございます。</p> <p data-bbox="480 1480 1353 1749">今説明したんですけれども、計画全体的な表現につきまして、今回が最後だということできなしに、全体完成いたしました時点、また、住民説明会等もございまして、その内容で修正することもできます。今回、1章までの部分の最終決定ではないということだけでは、これ場で確認いただきたいと思っております。</p> <p data-bbox="480 1771 1353 1917">また、さきに計画素案に対する意見シートを配付させていただいておりますけれども、そういう意味で訂正がありましたら、よろしくお願ひしたいということでお願ひいたします。</p> <p data-bbox="509 1939 943 1973">どうもありがとうございました。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
東野委員	<p>今事務局より説明をいただきました。</p> <p>この件につきまして、何か補足説明を受けたり、あるいは質問がございましたら受けたいと思いますが、いかがですか。</p> <p>この前、シートという形でいただいております、少し読ませていただきたい、確認させていただきたい、この序論の中で、地方分権制度が進んでいく中で、地方交付税が削減され、将来的に歳入増が見込めず、このような環境下、行財政運営を維持していくことが、もはや困難であるというような文言が効果と必要性の中で、そういう文言が少しく明瞭してあってもいいんじゃないかと思うんです。</p> <p>それから、効果の中でも、合併特例債の財政支援がいかにも有効に市民のために計画的に活用すべきかというような明記も欲しいと思います。</p> <p>それから、行財政改革という言葉がたくさん出てくるんですけども、行財政改革の中で、職員数とか職員の給与や特別職の報酬も含めた具体的な内容になるんですけど、そういうようなことははっきりと押さえが欲しいかなと思いました。</p> <p>それから、46ページで、地域産業の振興と地域内の経済循環の中で、循環型農業の中で、黒田庄町が今、土づくりセンターを計画しています。その中で、やっぱり新市においてもその必要性を認識していただくために、その文言を入れていただくようお願いしたいと思います。</p> <p>それと、47ページで、ローカル・ガバナンスの中で、これも黒田庄町になるんですけども、地域総合事務所、地域振興局を全体の中では方向性は示されておるんですけども、小委員会の素案の中へ、住民会議、それから地域自治組織等々、それを作っていくとか、そういうことを、何かこう、そういうような文言も欲しいと思います。</p> <p>それから、31ページから35ページ、財政の状況の中で、</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p>長谷川委員長 事務局長</p>	<p>16年度西脇市の予算、今年度の予算案に出てましたけども、15年、16年度も状況がわかれば載せていただけたら。また、来年になったら大きく変わってこようと思いますので、14年度から16年度のこの新聞を見ましたら、大きく変わってきてますし、もし載せられるのであれば載せていただきたいと思います。</p> <p>そんなことを感じました。</p> <p>非常に多くの質問がでましたが。</p> <p>いろいろ特に47ページの協働とか行財政運営の件、それから、45ページの、具体的に土づくりという話が出たんですけども、ここの段階での主要課題が出てきております。</p> <p>ちょっと目次をごらんいただきたいと思うんですが、主要課題が大体入ったんですけども、それを受けて、4章で施策、また、5章で公共的な施設、支所の問題、それから、厳しい財政計画の中で財政計画とを、ここでうたいたい。そういう中で、起債を使って、どうこうということも出てくるんですけど、そういう土づくりセンターというのは、財政計画の記載の中で何もかも出てきますので、出てきたときに、前との照合も含めてやりたいなと。ここに出ていない、課題以外にありましたら注釈をお願いしたいと。それで、部分的にごらんいただいておりますので質問あるんですけど、最終的に、今委員さんおっしゃったようなことを、最後の4章からうたい上げたいなと思っております。</p>
<p>東野委員</p>	<p>全く意見として聞かせていただきたいんです。思いとしてやらせていただいたらいいと思いますけども。</p>
<p>長谷川委員長</p>	<p>そういうことで、また、皆さん、納得していただきました。</p> <p>ほかに、何かございませんか。</p>
<p>小林副委員長</p>	<p>一番最初、冒頭に、人口の件が出まして、私そういうこと非常に気になってるんですが、もちろん氷上の方とか淡路の方もですけども、しかし、この地域、周りを見ても、減るのはこの辺だけ、加東にしる小野にしる加西にしる横ばい若しくは増加傾</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局長	<p>向にありますね。その中で、なぜこの地域が減少するのかなということなんですね。やはりこの地域の一番の課題じゃないかなというふうに思うんですよ。もう少しそれを突っ込んで、対策がとれないかなということなんですよ。</p>
小林副委員長	<p>幹事会の方でも、例えば、今現在の4万6,000人あるのを4万4,000人にせなならんのを。</p>
事務局長	<p>ですからイメージ的に非常にですね。夢のない話になってきてね。</p>
小林副委員長	<p>1,700人、例えば増やさせていただいたというのはですね、極端に言いますと、こういったまちづくりの中で、住宅供給の問題とか、それから、道路基盤の問題、福祉の問題とか、いろいろな問題、最大規模数にせよという中で今まできとるわけなんですね。普通ですと、3,000人か4,000人は減るんだと、当初は4万5,000人そのままいこかという話になったんです。それをやはりそこまで上げるという要因としたのが、そういうふうなことができるまちづくり計画を作ってもらおかなと、いうところに落ち着いたんですね。おっしゃるように、もう少しそういう施策を課題として挙げていただいて、後でこういうふうな手法で展開するというのを教えていただいたらありがたいと思うんですけども。幹事会も答えをようだしてませんねん。</p>
小林副委員長	<p>難しいのは重々わかるんですけどね、やっぱりその辺がまちの一番の課題だと思うんですけども。こうまとめてもらってるんですが、しかし、その辺のことが、ちょっとこうこだわりたい部分をついてしないといけないのかなと、本来はですよ。だけど、それは人口想定がそういうふうになったので、やっぱり減るんかなというイメージが非常に強いと思いますのでね。また現実にそうなんですけども、でもやっぱりそれは何とかやっていきたいということをもう少したった方が、そういうふうに思うんですが、難しいですよ簡単には言っても。一番難しい部分なんで、我々と</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局員	<p>しても一番課題なんですけども。何か踏み込める点をもう少し。</p> <p>局長ちょっと言いましたように検討していった中で付け足しになるんですけども、やっぱり現実で、まず一番はじめに踏まえることは、今までの計画というのは、全部人口が最低でも現状維持。それから、増減、生活人口、付け足して見ていくことをしてないんですけど、ただ、初めの合併の必要性のところで書いてますように、平成17年以降は日本全体が人口が減るという大前提を踏まえた上で、やっぱり10年見据えていくことが必要じゃないかということで、その中で、できるだけ転出を抑制する。うちの特性でここにも書いてるんですけど、近隣市町への転出が多いんです。小野、加東、その辺が割と多いんで、県内が7割、その内、県外、県内の神戸とかに取られる部分はある程度しょうがないんですけども、小野、加東ということを考えたら、ここへの転出を抑制していくことを考えていきたいなというのがあったんで、まずその転出抑制を図る、転出抑制を図ることによって生産年齢人口が減っていくのが防げるので、少子化にもある程度歯止めがかけられるのではないかと、そういうことをこの中でうたっていきたいということで、あまり無理をせず、いろんな条件で設定したところ4万4,000ぐらいが、あくまでもええ数字じゃないだろうかということです。</p>
小林副委員長	<p>現実的にもものすごく厳しいと思うんですけども、少し上乗せした数字と。いや、ようわかるんですよ。個人的な意見言わせてもらいますと、やはりそれ聞いてましたらね、全く個人的な意見ですけど、やはり小野市の取り組みというのは非常に進んでると思うんです。だから、そういうことをもっと見習わないかというのが1点と、それから、全くこれも個人的な意見ですけど、実は、今の社の裁判所の裁判官にですな、2、3年前に言われた言葉がありまして、西脇市は、やはり産業も含めて非常に夢がないのかなと言われたんですな。それは、じゃあどうということなんですかと私聞</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>いたんですけど、そうすると、やはり子供たちに覚せい剤なんかが、一時そういう時期がありましてですね、覚せい剤の事件がありましたけども、そういうことが非常に蔓延してると、現実には余りみんなは知らないけども、やっぱり裁判とかいんなことについては、そういう覚せい剤事件とかが非常に多いよと。それはやはり地域に未来というのが見出せないのと違うかと。裁判官の個人的な意見ですけどもね。そういうことを言われて、私非常にショックを受けたことがあるんです。それはやはり私たち大人の責任で、やはり未来を語れる、夢を語れるということを地域がもっとやっていかない限り、地域は明るくなっていかない。人口もですからどんどん逃げていく、若い世代が特に逃げていくというのが、私、一番の課題だと思うんです。</p> <p>じゃあ、どうしたらいいかという具体的な案はなかなか出てきませんけども。そういう夢をもう少し語れるというようなことを、何とか主要課題の中にもう少し入れて、明るい未来が現実では厳しいですけど、何とか入れてほしいなというのが個人的な意見です。</p>
宮崎委員	<p>ここに上げてる人口推移値に関しては、これは、この数値が、将来の財政面の収益に当たるものも計画した上での人数になるわけですよ。</p>
事務局員	<p>財政計画はまた別で、財政計画の方はまたコーホート要因の人口になるんですけど、それで想定していこうということで。あくまで、これ4万4,000というのは想定人口ですね。その上にプラスした分となりますので、ちょっと財政計画とは一致しない人口でしてるんです。</p>
宮崎委員	<p>人口増は望むところなんですけども、小林委員が言われたみたいに、どっちかいうたら、財政面まで関連するんやったら、シビアな数値の方が得策かなと、個人的には賛同する方なんですけど。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
ｺﾝﾀｸﾄ千田氏	<p>総合計画とは色合いがちょっと違って、建設計画のうちの財政計画も含めて、将来やっていけるのかというものを問われている部分がありますので、厳しめなのと、現実を反映している感じがすけど、それだけじゃ夢がないので、あと施策を後ろでやりますので、これを反映してもう少し、頑張ろうじゃないかというような設定をしています。それから、あと、後ろの施策とか方針のところで、こんなことをやったら伸びるんじゃないかということで、行政施策として検討していくということです。</p>
小林副委員長	<p>ですから、今の、若者を育てましょうみたいな言い方になってるんですね、人材の育成ということで。むしろ、もっともっと若者自身が考えるというような、そういう表現にならひかなというのが1点ございます。大人が子供を育てるんだと、ちょっとこういうふうな、私にはとれるんですけどね。こういう書き方ですと。そうじゃなくて、もっと子供たち自身が考えるようなことがいいんじゃないかなというのはあります。</p>
ｺﾝﾀｸﾄ千田氏	<p>今、子育てといういわゆる文言と、それと、子育てというふうな文言を使い分けてやっております。そのあたりご理解お願いしたいということです。</p>
長谷川委員長	<p>ほかにはございませんか。</p>
東野委員	<p>すみません、ちょっと戻ってもよろしいですか。</p>
	<p>関連性持って見させてもろたらよかったんですけど、36ページに上げてある県の方向性ですね、ここで使ってある北播磨のビジョンのところでもハートランドいうのをメインにされて、これ紹介してますよね。キャッチフレーズのところで、関連性持たさんと話ばかりしとったんですけど、このハートという言葉は、住民に対して発表さしてもうても別にそれは支障ないんですかね、先ほどのサブタイトルとして。</p>
事務局長	<p>小野が多いです。</p>
宮崎委員	<p>ハートランド。</p>



発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局長 事務局員 長谷川委員長	<p>今まで小野はイベントやったら、ハートランドばかりです。</p> <p>新都市像も小野はハートフルシティ小野です。</p> <p>ほかにご意見がないようでしたら、時間もかなり進んでおりますので、本日はこのぐらいにさせていただいていただきたいと思っております。</p> <p>19日の協議会におきましては、従来と同じように、小委員会の内容報告ということで、これまでに協議いたしましたことをまとめまして、中間報告の計画素案という形で私の方から報告させてもらうことになると思うんですけども。</p> <p>先ほど言いました新市の将来像については、本日の協議を踏まえ、小委員会から協議会に議題を提案し、委員全員の協議のもとで決定していきたいと思っております。</p> <p>以上をもちまして、本日の予定、協議事項はすべて終了しましたが、委員の皆様からさまざまな意見を出していただいて、有意義な議論ができたように感じております。</p> <p>今回までの協議で、将来構想にかかわる部分までの素案がまとめ、協議会で報告という段階までまいりました。今後も、委員の皆様のご協力をいただき、計画の後半部分を策定していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、次回開催予定と議題について、事務局からご説明をお願いしたいと思います。</p>
事務局長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次回は、4月8日の6時半から、場所はここをお願いをいたしたいと思っております。</p> <p>次回の議題につきましては、次回協議会に配布する素案に対する意見シートの意見取りまとめ結果報告をさせていただくほか、新市のまちづくりの基本方針、主要施策について協議いただきたいと思っております。</p> <p>何分、短期間でございますけれども、ご協力の方どうぞよろし</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>くお願いいたしたいと思います。</p> <p>それでは、どうもありがとうございました。</p> <p>きょうは非常にお忙しいところ遅くまでありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">（ 閉 会      午 後 9 時 7 分 ）</p>